

【県教育委員会担当課】

■ 光化学オキシダント、微小粒子状物質（PM<sub>2.5</sub>）発生時、松くい虫防除空中散布に関する報告

教育庁保健体育課健康づくり推進室 Tel : 0852-22-5425,6145 Fax : 0852-22-6767

■ 熱中症の集団発生に関する報告

教育庁教育指導課子ども安全支援室 Tel : 0852-22-6064,6065 Fax : 0852-22-6026

【参考資料】

熱中症について

1 未然防止のポイント

学校管理下における熱中症事故については、ほとんどが体育・スポーツ活動によるもので、25～30℃の気温でも湿度が高い場合に発生しているが、適切な措置を講ずれば、十分防ぐことが可能である。

(1) 温湿度計の設置について

温度25℃以上、湿度60%以上の環境下では熱中症が発生しやすいため、各校に温湿度計（温度と湿度が測定できるもの）を設置し、教職員が確認した上で体育・部活動等を実施するなど適切な処置を講ずる。

(2) 予防法の周知徹底

児童生徒の健康観察を通して健康状態を把握しておくとともに、適度な水分補給や体調管理等についての指導を徹底する。

2 事故発生時以降の対応

下図を参照して適切な処置をするとともに、集団発生の場合には、危機管理事象発生時の連絡経路に基づき、速やかに報告をする。

### 熱中症は予防が大切です

熱中症は気温などの環境条件だけではなく、人間の体調や暑さに対する慣れなどが影響して起こります。気温がそれほど高くない日でも、湿度が高い・風が弱い日や、体が暑さに慣れていない時は注意が必要です。

#### こんな日は熱中症に注意

- 気温が高い
- 湿度が高い
- 風が弱い
- 急に暑くなった

#### こんな人は特に注意

- 肥満の人
- 体調の悪い人
- 持病のある人
- 高齢者・幼児
- 暑さに慣れていない人

#### 熱中症の予防法

- 日傘・帽子
- 涼しい服装
- 水分をこまめにとる
- 日陰を利用
- こまめに休憩

**\*急に暑くなった日や、活動の初日などは特に注意**  
人間の体は暑い環境での運動や作業を始めてから3～4日経たないと、体温調節が上手になってきません。このため、急に暑くなった日や、久しぶりに暑い環境で活動した時には、体温調節が上手くいかず、熱中症で倒れる人が多くなっています。

**\*汗をかいた時には塩分の補給も忘れずに**

### 熱中症になったときには

熱中症を疑う症状とは...

- めまい・失神
- 筋肉痛・筋肉の硬直
- 大量の発汗
- 頭痛・気分が不快・吐き気・嘔吐・倦怠感
- 虚脱感
- 意識障害・痙攣・手足の運動障害
- 高体温

環境省

出典：「熱中症～ご存じですか？予防・対処法～（リーフレット）環境省」

※熱中症対策に関して、判断の目安となるような記述に改正予定である。